**学習指導案の形式例（小学校　家庭）**

**○○小学校　第○学年　家庭科　学習指導案**

令和○○年○月○日○曜日

第○校時　○時○分～○時○分

○年○組　○名

指導者　○○　○○○

１　題材名

　※　単元または主題と記載する例もあるが，小学校家庭では「題材」とする。

　※　該当する内容（項目）を全て明記する。

　（例）題材名　「おいしくつくろう　伝統的な日常食　ごはんとみそ汁」

　　　　　　　　「Ｂ衣食住の生活」（１）「食事の役割」ア

　　　　　　　　　　　　　　　　 （２）「調理の基礎」ア（ア），（ウ），（オ）及びイ

２　題材設定の理由（指導の立場）

　※　題材を設定した趣旨を，児童観・教材観・指導観の３つの観点から記述する。

　※　３つの観点がバラバラなものにならないようにする。

　（１）児童について

　　　題材に関連する児童の生活経験や生活実態，教師から見た生活における問題点などを明らかにする。また，この題材に関する児童の既習知識や既得技能，興味・関心の対象や程度，授業時に予想される児童の反応などから，この題材を構成する教育内容が発達段階から見て適切かなどについて記述する。

　（２）題材について

　　　題材を構成する教材の解釈について記述する。この教材が児童の発達とよりよい家庭生活及び地域社会の創造にどのように寄与するかなど，意義や教育的価値について明らかにする。児童に付けたい力もこの中に含まれる。

　（３）指導について

　　　児童観・教材観との関連を基盤に，本題材の指導にあたって配慮すべき事項について述べる。何をねらいとし，どのような指導手順で，特色ある指導を展開しようとするのか，という授業者の考えや指導方針，独自の工夫や資料・教具などに関して記述する。

３　題材の目標

　※　学習指導要領に示された教科の目標並びに題材で指導する項目及び指導事項を踏まえて設定する。

※　題材の指導を通して，どのような資質や能力を育成したいか「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の面から明らかにする。

４　題材の評価規準

　※　「内容のまとまりごとの評価規準（例）」から題材において指導する項目及び指導事項に関係する部分を抜き出し，評価の観点ごとに具体化，整理・統合するなどし，３観点別に作成する。

※　「内容のまとまりごとの評価規準（例）」については，「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所教育課程研究センター、令和２年３月）を参照のこと。

５　指導と評価の計画（　○○　時間　）

　※　「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所教育課程研究センター、令和２年３月）を参照のこと。

　※　評価規準については，「内容のまとまりごとの評価規準（例）」における題材において指導する項目及び指導事項に関係する部分を参考にする。

　※　評価方法（学習カード，記録表，行動観察，ポートフォリオ等）も明記する。

　※　本時に当たる部分が分かるように示す。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 小題材 | 時間 | ねらい・学習活動 | 評価規準・評価方法 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
|  |  | ○･･･（ねらい）･･･  ・･･･（学習活動）･･･  文末表現の例 | ・～を（～について）理解している。  ・～を（～について）理解しているとともに，適切にできる。 | ・～について問題を見いだして課題を設定している。  ・～について考え，工夫している。  ・～についての課題解決に向けた一連の活動について，考えたことを分かりやすく表現している。 | ・～について，課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。  ・～について，課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。  ・～について工夫し，実践しようとしている。 |
| 自分の食事を見つめよう | １（本時） | （例）  ○食事の役割と日常の食事の大切さについて理解するとともに，米飯及びみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることを理解することができる。  ・日常の食事を振り返り，食事の役割について話し合う。  ・外国の食卓と日本の食卓の写真を比較し，米飯とみそ汁を日常的に食べている理由や米飯とみそ汁のよさについて考える。 | （例）  ①食事の役割が分かり，日常の食事の大切さについて理解している。  **・学習カード**  **＊ペーパーテスト** |  |  |
| ２ | （例）  ○米飯及びみそ汁の調理の仕方について問題を見いだし，おいしく食べるための課題を設定することができる。  ・ＤＶＤや家庭で調べてきたことをもとに，米飯とみそ汁の調理の仕方について，疑問に思ったことなどを発表する。   * ･･･ * ･･･ |  | （例）  ①おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。  **・行動観察**  **・学習カード** | （例）  ①伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方について，課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。  **・ポートフォリオ**  **・行動観察** |
| ･･･ | ３ | ○･･･（ねらい）･･･  ・･･･（学習活動）･･･ |  |  |

６．本時の展開（　○　／　○　時間　）

　（１）題目　※小題材名を基に端的に表す。　例「食事の役割と大切さ」など

　（２）本時のねらい

　　　（例）「～を～して（に気付いて・を通して）～することができるようにする。」

　　　　○　本時で児童が達成すべき目標を１～２項目くらいにしぼり箇条書きにする。

　　　　○　児童側からの表現にし，次の点について具体的に記述するとよい。

　　　　　　※　追求の対象・学習の対象・学習の材料

　　　　　　※　目のつけどころ・力となるところ・操作　など

　（３）学習活動と評価

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間  (分) | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価場面・方法 |
|  | ※学習者（児童）の立場で書く。  ※ねらいを達成するために行う活動を，活動のまとまりで書く。  ※文末表現の例  　・話し合う  　・出し合う  　・考える  　・作る  　・さぐる  　・調べる　など  ※１，２，３･･･の番号をつける。（順序性がある） | ※指導者の立場で書く。  　○や・で表す。  　○：中心的な働きかけや手だて（指導内容）。  　・：出方の予想や補助的な働きかけ。  ※記述する事柄の例  　○学習のきっかけ作り。  　○問いかけ（課題提示）。  　○各自での試行・作業のさせ方。  　○どの段階で発表させるか。  　○答えや根拠の整理・まとめ方。  　○ずれ・矛盾・疑問点などを明らかにしていく方法。  　○個に応じた多様な方法を想定しておき，実際に即して指導していく方法。  　○よりよい考えを選び出したり，作り上げていくときの手だて。  　○発展・応用していく方法。  　○次の時間へのつなぎ方。　　等  本時の課題は  ああああああああああああで囲む。  ※教師の一方的な指導と思われる記述ではなく，児童の主体的な姿が現れた記述にする必要がある。 | ※本時のねらいを確認する箇所はどこかを意識する。  　本時のねらいと評価場面・評価方法の整合性を確認すること。  ※評価方法，評価の観点及び番号  　指導と評価の計画に記載したものを明記する。 |
| ○  ○  ○  ○ | （例）  １　本時の学習のめあてを確認する。  食事の役割を考えよう | ○給食の献立を振り返らせる。 |  |
| ２　･･･  ３　･･･ |  | （例）  ■評価方法  【学習カード】  　知識・技能① |
| （例）  ５　本時の学習のまとめをする。 | ○次時への意欲につながるようにする。 |  |

（４）本時の評価

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 観点 | おおむね満足できる状況（Ｂ）と  判断される児童の姿 | 支援を必要とする児童への手だて |
| ※評価の観点と番号を記入する。  （例）  知識・技能① | ※評価規準をもとに，具体的な児童の姿を記載する。  （例）  ・食事の役割が分かり，日常の食事の大切さについて理解している。 | ※児童への具体的な手だてを記載する。  （例）  ・具体的な例を紹介して助言する。 |